

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	男女共同参画社会の実現の加速に向けた学習機会充実事業		<b>担当部局庁</b>	生涯学習政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度～		<b>担当課室</b>	男女共同参画学習課		男女共同参画学習課長 笹井 弘之		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	第3次男女共同参画基本計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	男女共同参画社会の実現を加速するためには、地域づくりに参画する女性人材の育成や男性が男女共同参画を自らの問題として捉えることが課題であることから、本事業においては、東日本大震災を教訓に地域づくりの意思決定を行うレベルにおいても自らの力を発揮できるような女性人材の育成、男性自身の固定的役割分担意識を解消し、男性にとっても多様な選択が可能となるよう、男性を対象とした男女共同参画の学習機会の充実を図るものとする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	東日本大震災の教訓を踏まえ、男女共同参画の視点を地域づくりに反映できるような女性人材の育成に必要な体系的な学習プログラム等について検討を行うとともに、地域づくりに参画する女性人材の育成について、好事例を収集するとともに、女性の人材が不足している地域活動の課題等の分析を行うための調査を実施する。 また、男性を対象とした男女共同参画についての学習機会の充実をはかるため、企画実施委員会を設置し、男子学生を対象としたワーク・ライフ・バランス、キャリアプランニング等について学ぶワークショップを企画し、大学と連携して男子学生を対象としたワークショップを実施する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					19	
	執行額							
執行率 (%)								
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)	
	ワークショップ参加者の評価 満足度[%]	成果実績	%				80%	
		達成度	%					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	ワークショップ開催回数	活動実績 (当初見込み)	回				※24年度の活動見込である ( 5 )	
<b>単位当たりコスト</b>	1.8百万円(円/箇所)		算出根拠	「男子学生を対象とした男女共同参画ワークショップ」に係る経費/5箇所 (ワークショップ開催にかかる経費9百万円÷5=1.8百万円)				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		2百万円					
	職員旅費		1百万円					
	委員等旅費		4百万円					
	庁費		12百万円					
	計		19百万円					

※四捨五入の関係で内訳の積み上げと一致しない(以降の各頁も同様)

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業は、22年12月に閣議決定された「第3次男女共同参画基本計画」において、男性、子どもにとっての男女共同参画等について改めて強調されたことを受け、男性が男女共同参画を自らの問題として捉えること等を目的として企画・立案されたものであり、その成果目標として男子学生を対象とした男女共同参画のためのワークショップの実施を掲げたことは事業目的にかなうものである。</p> <p>事業実施にあたりその効果的・効率的な実施方法を検討した結果、これらの事業を実施することによって男性の性別固定的役割分担意識の解消等の事業効果が最大限得られるものと想定している。</p> <p>・また、本事業は男女共同参画社会の実現の加速を目的としていることから、事業の成果として想定される男女共同参画の推進により、男性にも女性にも暮らしやすい社会の実現につながるなど国民のニーズに応える内容となっている。</p> <p>・本事業はこれまで文部科学省が取り組んできた、学習による男女共同参画をさらに発展・推進する事業内容となっている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
19百万円

男女共同参画の視点を地域づくりに活かすため、女性人材育成のための体系的な学習プログラム等の検討・調査研究を実施する。

また、男性を対象とした男女共同参画についての学習機会の充実をはかるため、企画実施委員会を設置し、大学と連携して男子学生を対象としたワークショップを実施する。

諸謝金：2百万円  
職員旅費：1百万円  
委員等旅費：4百万円  
庁費：12百万円

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)